



## 平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年11月4日

上場会社名 株式会社UACJ 上場取引所 東  
 コード番号 5741 URL http://www.uacj.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岡田 満  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 飯田 晴央 TEL (03)6202-2600(代)  
 四半期報告書提出予定日 平成27年11月12日 配当支払開始予定日 平成27年12月2日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有  
 四半期決算説明会開催の有無： 有 (証券アナリスト向け)

(百万円単位未満四捨五入)

### 1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績（平成27年4月1日～平成27年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	291,383	3.8	8,891	△31.9	7,323	△37.5	4,331	△22.2
27年3月期第2四半期	280,586	193.2	13,061	170.1	11,716	131.3	5,569	237.3

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 4,148百万円 (△56.1%) 27年3月期第2四半期 9,458百万円 (123.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	10.12	—
27年3月期第2四半期	13.01	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第2四半期	675,921	189,130	25.9	409.14
27年3月期	677,952	187,136	25.4	402.78

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 174,994百万円 27年3月期 172,305百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	3.00	—	3.00	6.00
28年3月期	—	3.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	3.00	6.00

(注1) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 平成28年3月期の連結業績予想（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	610,000	6.5	17,000	△28.2	13,000	△39.1	6,000	△30.6	14.03

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年3月期2Q	428,281,934株	27年3月期	428,281,934株
② 期末自己株式数	28年3月期2Q	568,223株	27年3月期	486,942株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年3月期2Q	427,745,519株	27年3月期2Q	427,946,702株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が発表日現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は経済情勢の変動等に伴うリスクや様々な不確定要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等 .....	3
4. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間の我が国経済については、円安や原油安を背景にした良好な企業収益や雇用環境の改善等に牽引され、景気は緩やかな回復基調が続いていますが、それらが個人消費や設備投資を押し上げる推進力は弱いものとなっています。また、8月頃から顕著になった中国の景気減速等に伴う輸出の減少や在庫の積み上がりにより、このところ景気は弱含みで推移しています。

アルミニウム圧延品業界の需要については、板類は、飲料缶・自動車・箔地の主要3分野のうち、コンデンサ需要が低迷した箔地が前年同期比マイナスであったものの、コーヒー缶のアルミ化が進展し需要が大きく伸長した飲料缶とトラック・バス関連の需要が好調であった自動車が、前年を超える出荷となり、内需総量としては対前年微増となりました。一方、押出類に関しては、主力の建築分野を始め、ほぼ全ての分野で需要が低迷し、前年同期比で大きく減少となりました。ただし、第2四半期に入り減少幅は縮小しており、回復の傾向を示しつつあります。

このような環境のもと、当社グループの業績につきましても、販売量は低調に推移したものの、前下期以降5月頃まで上昇が続いていた地金価格の影響を受け、売上高は291,383百万円(前年同期比3.8%増)となりました。損益については、5月以降の急激な地金価格下落に伴う棚卸評価関係による悪化やタイ王国における板圧延工場の立ち上げコスト増加等の影響により、営業利益は8,891百万円(同31.9%減)、経常利益は7,323百万円(同37.5%減)となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益についても、前期に発生したTri-Arrows Aluminum Inc.の製造委託先であるLogan Aluminum Inc.での設備故障による損失に対する受取保険金を特別利益として計上したものの、4,331百万円(同22.2%減)となりました。

セグメント別の状況については、以下のとおりであります。

#### アルミ圧延品事業

当社グループの売上数量は、板類に関しては、LNG船の需要が本格化した厚板やトラック・バス関連や輸出が好調であった自動車関連の数量が前年同期に比べ伸長致しましたが、缶材が前年同期の水準をやや下回ったことや、地金価格下落に伴う10月以降の売値下落を見越した買い控えが再販品を中心に見られたこともあり、板全体としては前年微減の結果となりました。押出類に関しては、空調用への採用が本格化したオールアルミ熱交換器用の材料が大きく伸長した以外は、業界傾向と同じく全般的に需要が弱く、前年同期比大きく減少することとなりました。このような販売状況であったものの、当期のアルミ圧延品事業の売上高は、第1四半期連結会計期間での前年同期比地金価格上昇の影響を受け、232,814百万円(前年同期比5.5%増)となりました。営業利益については、当期の急激な地金価格下落に伴う棚卸評価関係による悪化やタイ王国における板圧延工場立ち上げコスト増加等の影響により、10,418百万円(同21.6%減)となりました。

#### 伸銅品事業

伸銅業界においては、猛暑ではあったものの、残暑が長続きせず、業務用エアコン出荷台数は前年同期比8%減少、家庭用エアコンは同1%減少とやや低調に推移した結果、当事業の主力である空調用銅管も影響を受け、当期の伸銅品事業の売上高は24,415百万円(前年同期比6.3%減)、営業利益は386百万円(同40.3%減)となりました。

#### 加工品・関連事業

当社グループにおいては、事業譲受や前年同期比の地金価格上昇により売上高は83,327百万円(前年同期比5.6%増)となりましたが、受注物件の減少や当期の地金価格下落に伴う売値下落を見越した買い控え等による販売量減少、品種移管に伴う一時費用増等により、営業利益は1,828百万円(同9.1%減)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による利益剰余金の増加等により、前連結会計年度末と比べて1,994百万円増加し、189,130百万円となりました。

総資産については、ほぼ前連結会計年度末並の675,921百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、平成27年7月31日に公表いたしました予想値から変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

重要な子会社の移動はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（企業結合に関する会計基準等の適用）

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58－2項(4)、連結会計基準第44－5項(4)及び事業分離等会計基準第57－4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

なお、当第2四半期連結累計期間の損益及び当第2四半期連結会計期間末の資本剰余金に与える影響は軽微であります。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	21,069	15,042
受取手形及び売掛金	108,550	116,085
商品及び製品	32,672	34,886
仕掛品	45,225	52,036
原材料及び貯蔵品	39,842	32,079
その他	22,565	18,174
貸倒引当金	△33	△32
流動資産合計	269,889	268,271
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	56,729	63,143
機械装置及び運搬具（純額）	62,421	71,547
土地	115,711	115,622
その他（純額）	57,512	46,086
有形固定資産合計	292,374	296,398
無形固定資産		
のれん	46,503	45,248
その他	19,369	18,670
無形固定資産合計	65,871	63,917
投資その他の資産		
投資有価証券	32,804	31,758
その他	17,087	15,655
貸倒引当金	△73	△78
投資その他の資産合計	49,818	47,334
固定資産合計	408,063	407,650
資産合計	677,952	675,921

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	110,114	108,238
短期借入金	80,100	52,226
コマーシャル・ペーパー	6,000	—
1年内償還予定の社債	2,606	2,594
1年内返済予定の長期借入金	47,074	49,447
未払法人税等	1,930	1,046
災害損失引当金	291	99
その他	39,769	36,345
流動負債合計	287,884	249,995
固定負債		
社債	7,538	6,250
長期借入金	152,636	173,906
事業構造改善引当金	1,180	1,173
退職給付に係る負債	21,358	18,027
その他	20,221	37,441
固定負債合計	202,932	236,796
負債合計	490,816	486,791
純資産の部		
株主資本		
資本金	45,000	45,000
資本剰余金	72,901	73,041
利益剰余金	33,564	36,612
自己株式	△178	△203
株主資本合計	151,287	154,450
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,026	1,486
繰延ヘッジ損益	△69	△1,061
為替換算調整勘定	18,055	17,247
退職給付に係る調整累計額	1,006	2,871
その他の包括利益累計額合計	21,018	20,544
非支配株主持分	14,831	14,136
純資産合計	187,136	189,130
負債純資産合計	677,952	675,921

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	280,586	291,383
売上原価	243,484	257,115
売上総利益	37,102	34,267
販売費及び一般管理費	24,041	25,376
営業利益	13,061	8,891
営業外収益		
受取配当金	239	230
その他	775	993
営業外収益合計	1,014	1,223
営業外費用		
支払利息	1,675	1,677
その他	683	1,113
営業外費用合計	2,358	2,790
経常利益	11,716	7,323
特別利益		
受取保険金	-	1,219
その他	17	87
特別利益合計	17	1,306
特別損失		
固定資産除却損	322	264
減損損失	217	-
災害による損失	161	-
その他	92	12
特別損失合計	792	275
税金等調整前四半期純利益	10,942	8,354
法人税、住民税及び事業税	2,628	1,397
法人税等調整額	2,006	2,358
法人税等合計	4,633	3,754
四半期純利益	6,308	4,600
非支配株主に帰属する四半期純利益	739	269
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,569	4,331



(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
四半期純利益	6,308	4,600
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	542	△539
繰延ヘッジ損益	△9	△1,020
為替換算調整勘定	2,746	△1,047
退職給付に係る調整額	146	1,828
持分法適用会社に対する持分相当額	△273	327
その他の包括利益合計	3,150	△452
四半期包括利益	9,458	4,148
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	8,103	3,863
非支配株主に係る四半期包括利益	1,355	285

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

- I 前第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	アルミ圧延品 事業	伸銅品事業	加工品・関連 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	195,402	19,723	65,460	280,586	—	280,586
セグメント間の内部売 上高又は振替高	25,281	6,340	13,419	45,040	△45,040	—
計	220,683	26,064	78,879	325,626	△45,040	280,586
セグメント利益	13,291	646	2,011	15,949	△2,888	13,061

(注) 1. セグメント利益の調整額△2,888百万円には、たな卸資産の調整額△167百万円、セグメント間取引消去△177百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,544百万円が含まれております。

全社費用は、報告セグメントに帰属しない親会社の一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

- II 当第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	アルミ圧延品 事業	伸銅品事業	加工品・関連 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	204,167	18,545	68,671	291,383	—	291,383
セグメント間の内部売 上高又は振替高	28,648	5,870	14,656	49,174	△49,174	—
計	232,814	24,415	83,327	340,556	△49,174	291,383
セグメント利益	10,418	386	1,828	12,633	△3,742	8,891

(注) 1. セグメント利益の調整額△3,742百万円には、たな卸資産の調整額△101百万円、セグメント間取引消去△169百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△3,472百万円が含まれております。

全社費用は、報告セグメントに帰属しない親会社の一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。